

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	3-3-1		
2 地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		
3 政策	健康な生活の維持・増進		
4 施策	がん・生活習慣病対策等の推進		
5 評価担当部	池袋保健所		
6 施策関連課	地域保健課	国民健康保険課	高齢者医療年金課
7 評価者	池袋保健所長、健康担当部長		

8 施策の目標	がんによる死亡率の減少を目指します。 生活習慣病の発症及び重症化予防を推進します。						
9 施策の現状と課題	●がん検診の受診率は、79歳以下の対象者全員に5がんとめたチケットを送付した結果、これまで個別案内していなかった胃がん、肺がん検診の受診が急増した。また、特定健診は受診率が横ばいで推移しており、受診率向上にむけ、効果的な受診勧奨を実施する必要がある。 ●健診結果や医療費分析によると生活習慣病は重症化の傾向で、平成26年度には、糖尿病の1件あたりの診療費が23区中一番高くなっていた。糖尿病重症化予防事業の実施で平成30年度は3位まで減ったが、まだまだ高い状態が続いているため、更に糖尿病性腎症重症化予防施策を追加する必要がある。 ●喫煙は、がんの発症リスクが高まると言われており、たばこを吸う本人だけでなく、周囲のたばこを吸わない人にも受動喫煙による健康被害を引き起こすため、受動喫煙防止対策を進める必要がある。						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	●がんは日本人の死亡原因の第1位となっており、豊島区においても死亡原因の第1位となっている。一方で、がんは生活習慣病の改善により発症リスクを減少させることができ、また早期発見・早期治療で完治することも可能である。豊島区では、23区初となる「豊島区がん対策推進条例」を制定し、がんによる死亡者数の減少を目指し、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図っている。 ●令和2年4月1日から罰則規定有の改正健康増進法、都受動喫煙防止条例が全面施行され、施設の屋内が原則禁煙となった。飲食店などの施設管理者には受動喫煙を防止するための責務が課せられている。また、都内飲食店は喫煙の可否を掲示するよう義務付けられている。						
11 今年度の施策の取組方針	①効果的な受診勧奨の実施 ②医師会等関係機関との連携 ③効果的な追跡調査における精密検査結果の把握による検診精度評価 ④受動喫煙防止対策として飲食店の掲示状況を巡回調査する						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	1,312,170	1,269,048	1,390,765	1,415,407	1,291,607	
	うち一般財源分(千円)	945,704	895,341	1,010,790	1,059,335	928,188	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	区民のがん検診受診率(%)	目標値	21.5	22.7	22.9	23.1	23.8
		実績値	19.2	18.4	19.3	19.2	20.8
		達成率	89.3%	81.1%	84.3%	83.1%	87.4%
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 受診率の向上が、がんによる死亡や生活習慣病の発症・重症化の予防につながると思えられる指標のため				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	特定健診受診率(%)	目標値	42	42	43	45	47
		実績値	39.1	37.9	38.2	37.2	33.7
		達成率	93.1%	90.2%	88.8%	82.7%	71.7%
達成状況		B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 受診率の向上が、がんによる死亡や生活習慣病の発症・重症化の予防につながると思えられる指標のため					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	79.5%	【達成状況分析】				
	B:相当程度達成	特定健診受診率は、ここ数年ほぼ横ばいであったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年度は受診率が低下した。がん検診については、これまで受診していなかった方の受診が増え、特に胃がん内視鏡・肺がん検診の受け入れ枠に影響が出ている。また、豊島区の人口構成比が、若者にシフトしており、社保加入者が増えていることも、区の健診・検診率に影響を及ぼしている。今後は、感染対策を万全にしながらか早期発見・早期治療につながる健診・がん検診の受診勧奨に力を入れていきたい。					
		【指標重要度の割合の設定理由】 国としても、重要性を踏まえた「がん」「生活習慣病」は、それぞれに区民の生活の質に直結するものであり、いずれの重要さも軽視できない。また、トータルで健康意識につながることも、それぞれの受診勧奨を繰り返すことが、「健康な生活の維持・増進」を構築する二本の柱となる。					

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

15 施策を構成する 事務事業評価 を踏まえた分析	いずれの検診も、一度受ければよいというものではなく、継続的に受診すること、ひいては自らの健康に関心を保ち続けることが、肝要となる。理想は、全員が受診することであるが、まだ道半ばではあるが、多忙感の強い都市型住民における受診勧奨の実態から考えれば、一足飛びの受診率の向上は困難である。重要なことは、未受診者の受診勧奨とともに、継続的受診につなげていくことである。その意味では、微増傾向とは言え、着実な受診率が高くなりつつあることは、現場の努力が成果をあげていると分析している。また、健診を実施した後の保健指導や糖尿病重症化予防事業は、病気を放置しない、重症にならない重要な役目である。特定保健指導においては、10年以上にわたり23区中で4位以上をキープしており、特に平成28年度から令和元年度は常に2位という好成績を残している。また、糖尿病重症化予防事業は、地区診断の結果、国方式ではなく豊島区独自の方法で実施した結果、健診受診者全体の糖尿病関連検査値の改善が証明され、重症化予防の成功とともに、医療費削減の一助あることがわかり、評価できるものである。
16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	各種の健康診断事業は、対象者・対象部位などを区分し、総合的に提供しているもので、それぞれに意義があり貢献度も高く設定した。全体の円滑な実施に向けての基金の活用は、間接的な取り組みとなるので、やや貢献度を小さく評価した。一方、「がん先進医療費利子補給事業」については、医療の進歩により、先進的な治療方法を希望した場合に経済的な理由により断念せざるをえない場合を回避するためのもので意義深いのが、これまで利用実績を踏まえて他の取り組みよりも貢献度を低く評価した。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	健診目標は、全国的な取組のため、国の目標を踏まえた目標設定であり、都市型生活者の特性を踏まえれば、やや高め目標設定かもしれない。しかし、地方に比べて受診機関が身近であるなどの強みもあるため、手ごころな目標に甘んずることなく取り組んでいきたい。「自分の体のことは自分が一番わかる」というわけにはいかないもので、早期対応のために不可欠な「早期発見」の意義は大きく、今後も注力する必要性は極めて高いものと考えられる。一方、通知等には個人情報を含むため、ミスが発生する努力も必要である。限られたマンパワーで発送手順等を複雑化することはミスの誘因となりかねず、相互連携的な発送機会の活用はチャレンジしたい課題であるものの、十分に手順の確認などをしながら信頼性を確保しつつ進めていきたい。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	肺がん検診については、令和2年度新型コロナウイルスの影響により、感染対策のため時間あたりの受診枠を制限せざるを得ず、受診を希望したにも関わらず受診が出来なかった方も多く出た。また、肺がん検診のCT撮影については、豊島健康診査センターに設置された1台をフル稼働しているものの需要に追いついておらず、対応を検討する必要がある。検診は受診して終わりではなく、その後の追跡をもつて、早期発見、早期治療につながっているかどうかの検証が重要である。これまでの追跡調査では、返信率が70%前後と低く、本来のがん検診の精度評価につながっていない。今後、追跡調査の制度を見直し、検診後の評価を充実させるための仕組みづくりが急務である。また、平成30年度新規事業の眼科検診は、3年目となる令和2年度はさらに受診者が減少していった。新規の検診は認知度が低く、今後は多くの方に眼科検診を認知させるためナッジ理論の活用等、動員方法の検討が必要である。令和2年度に改定した「豊島区がん対策推進計画(第3次)」によるライフステージに応じたがん対策を強化する必要がある。受動喫煙防止対策では、令和2年度に東京都の補助金を活用して、コールセンターを設置、全飲食店へ表示ステッカーを送付、掲示状況の巡回調査を実施し、調査では掲示率が58.8%であった。

19 施策を構成する計画事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0801-01	がん検診事業	事業費合計(千円)	465,736	461,589	588,124	646,194	559,347
		うち一般財源分(千円)	451,080	449,201	574,401	632,631	548,774
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
事業特性2 国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	S:拡充	S:拡充	A:改善・継続	
0801-02	豊島区B型C型肝炎ウイルス検査事業	事業費合計(千円)	8,349	6,063	4,827	5,037	5,456
		うち一般財源分(千円)	5,466	3,898	2,845	3,084	3,304
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
事業特性2 国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:改善・継続	A:改善・継続	
0801-03	がん対策推進事業	事業費合計(千円)	8,788	3,416	11,222	8,459	10,567
		うち一般財源分(千円)	8,622	3,416	10,454	7,049	10,209
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	S:拡充	A:改善・継続	A:現状維持	
0801-04	受動喫煙防止対策事業	事業費合計(千円)				3,505	22,643
		うち一般財源分(千円)				3,495	3,274
		現状評価					
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度				★	★
事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性				A:現状維持	C:縮小	
0801-05	がん対策基金関連事業	事業費合計(千円)	5,249	3,555	3,465	3,508	2,736
		うち一般財源分(千円)	4,675	3,400	3,400	3,400	2,550
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★	★	★	★	★
事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	B:改善・見直し	B:改善・見直し	B:改善・見直し	A:改善・継続	A:現状維持	
0801-07	福祉健康診査事業	事業費合計(千円)	17,859	17,609	17,947	17,033	18,925
		うち一般財源分(千円)	13,978	13,288	11,759	11,621	13,135
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
事業特性2 国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持		A:改善・継続	A:現状維持	
0801-08	特定健康診査・特定保健指導事業 (一部国民健康保険事業会計)	事業費合計(千円)	282,723	268,249	258,205	241,837	217,227
		うち一般財源分(千円)	155,255	137,364	127,320	124,439	107,115
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	義務的事業	義務的事業	義務的事業	★★★	★★★
事業特性2 国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持		A:改善・継続	A:改善・継続	

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

0801-09	介護老人施設入所者健康診査事業		事業費合計(千円)	12,945	12,391	12,914	13,329	12,640
			うち一般財源分(千円)	12,945	12,391	12,914	13,329	12,640
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
		事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:現状維持
0801-11	後期高齢者医療事業健康診査関係経費 (後期高齢者医療事業会計)		事業費合計(千円)	176,444	178,098	181,578	182,832	182,822
			うち一般財源分(千円)	96,921	97,771	98,962	101,458	96,263
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
		事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:改善・継続
0801-12	糖尿病重症化予防等医療費適正化事業 (国民健康保険事業会計)		事業費合計(千円)	39,586	37,199	32,173	32,080	25,381
			うち一般財源分(千円)	32,477	27,409	22,383	17,643	10,206
			現状評価	A:良好	A:良好	A:良好		
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
		事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:改善・継続
0801-08	特定健康診査・特定保健指導事業 (一部国民健康保険事業会計) (再掲 0801-08と同じ)		事業費合計(千円)	282,723	268,249	258,205	241,837	217,227
			うち一般財源分(千円)	155,255	137,364	127,320	124,439	107,115
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	義務的事業	義務的事業	義務的事業	★★★	★★★
		事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0801-13	眼科検診事業		事業費合計(千円)			9,169	5,990	4,715
			うち一般財源分(千円)			9,169	5,990	4,715
			現状評価					
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度			★★	★★	★★
		事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			B:改善・見直し	B:改善・見直し
20 施策を構成する一般事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0801-06	がん先進医療費利子補給事業		事業費合計(千円)	425	0	0	850	0
			うち一般財源分(千円)	425	0	0	850	0
			現状評価	C:不十分	C:不十分			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★	★	★	★
		事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)
0801-10	骨粗しょう症検診事業		事業費合計(千円)	11,343	12,630	12,936	12,916	11,921
			うち一般財源分(千円)	8,605	9,839	9,863	9,907	8,888
			現状評価	B:普通	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
		事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	3-3-2		
2 地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		
3 政策	健康な生活の維持・増進		
4 施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】		
5 評価担当部	池袋保健所		
6 施策関連課	地域保健課	健康推進課	長崎健康相談所
7 評価者	池袋保健所長、健康担当部長		

8 施策の目標	ライフステージに合わせ、女性の健康づくりを総合的に支援するとともに、結婚前から子育てに係る年代に対する切れ目のない支援を充実させます。						
	メンタルヘルスについての正しい知識を広め、セルフケアができる人や周囲の方を気遣える人を増やします。						
	生活習慣の改善と運動習慣の定着、また歯と口腔の自己管理による豊かな食生活を送れる人の増加など、ライフステージに応じた健康づくりを推進します。						
9 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●女性の「やせ」や産後うつ、出産時年齢の上昇等、女性の健康に関わる課題が多くみられるため、情報提供や相談体制の充実が求められている。 ●全国的な傾向と同じく、豊島区でも若年層の死因の一位は自殺によるものである。よって、若年層に重点を置いた対策を強化する必要がある。 ●特定健診の結果で「異常なし」の人は1割以下となっている。また、質問票によると、運動習慣のある人は4割で、特に40歳代は3割に満たない状況である。よって、健康習慣継続の推進と、幅広い年代に対応した健康施策の展開が求められている。 ●令和2年12月実施の健康に関する意識調査では、20代の29.1%が朝食をとっておらず、その理由として59.0%が寝ていたいと回答している。また、定期的に歯科健診を受けている区民は、全体で43.4%だが、20代では24.6%となっている。ライフステージに応じた歯と口腔の健康づくりと食育の推進が必要である。 						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ●「日本創成会議」による報道発表を契機に、豊島区の少子化に歯止めをかけ、定住化を進めるための支援を強化している。 ●平成28年4月1日に自殺対策基本法が改定され、保健、医療、福祉、教育、労働等の関連施策との連携により自殺対策を総合的に実施することが求められていることから、区においても、大学、企業等と連携して、若年層とともに自殺対策を検討し、取組みを推進している。 						
11 今年度の施策の取組方針	<ol style="list-style-type: none"> ①女性専門相談事業及び妊産婦歯科健康診査の周知を強化し、としま鬼子母神プロジェクトを推進する。 ②区内大学と連携して、若年層向け自殺予防対策を強化する。 ③「としま健康チャレンジ! マイレージ制度」を広く区民に浸透させ、健康意識の醸成、生活習慣病の改善、運動習慣の定着を推進する。 ④各年代の食の課題に応じた取組みを関係機関と連携し、推進する。 						
12 投入コストの推移	費目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業費合計(千円)		618,391	618,321	650,961	642,916	650,708
	うち一般財源分(千円)		596,932	594,415	627,945	603,739	746,089
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	運動習慣のある人の割合(特定健診質問票より)	目標値	45	45	45	45	45
		実績値	41.1	40.7	40.1	40.2	39.2
		達成率	91.3%	90.4%	89.1%	89.3%	87.1%
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 生活習慣病予防の一助となる運動を日常的に取り入れるための施策づくりが重要であるため。				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	子育て世代の区内定着率	目標値	70	71	73	74	75
		実績値	68.8	70	68	70.3	76.6
		達成率	98.3%	98.6%	93.2%	95.0%	102.1%
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	A:達成
	指標重要度の割合(%)	30	指標設定理由 結婚前からの切れ目のない支援の取組の成果を示す指標であるため				
	指標(3)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
女性のライフプラン形成のための健康相談事業(女性のための専門相談)(延べ相談件数)	目標値	150	280	280	130	130	
	実績値	236	232	220	88	151	
	達成率	157.3%	82.9%	78.6%	67.7%	116.2%	
	達成状況	S:目標超過達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	C:未達成	A:達成	
指標重要度の割合(%)	20	指標設定理由 女性特有の健康課題に対して、多職種による支援ができていくかを測る指標であるため					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	97.4%	【達成状況分析】				
	B:相当程度達成	「健康チャレンジ」は主体的な健康づくりの取組みとして、幅広い世代に多様なメニューを提供するパッケージとして本区の取組みが厚労省や都にも評価されており、運動習慣の普及に寄与している。こうしたことから、運動習慣のある人の裾野が広がっていると評価している。「子育て世代の区内定着率」は、保健衛生行政だけでなく本区の取組みの相対的な成果であるが、切れ目のない支援をしていくための前提条件として安定性は重要な要素である。「女性のための専門相談」は個別の事情に応じた多職種による相談であるが、延べ件数で達成指標を表現している。事業の実施方法を工夫したことにより、実績が目標値を大幅に上回った。指標としての妥当性や目標値を再度考える必要がある。					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
「健康チャレンジ」は先述のとおり、幅広い世代に多様なメニューを提供するパッケージとして「健康な生活の維持・増進」施策の基幹であるため、割合も大きく評価した。「子育て世代の区内定着率」は、保健衛生行政だけではないが、切れ目のない支援の成果であるとともに、提供の前提へとつながるため割合を大きく評価した。「女性のための専門相談」は、きめ細かな対応として、多職種による支援実績であるが、先述のように達成指標としての妥当性や目標値を再度検討する必要があるため評価を小さめにした。							

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	14に述べた三つを中心に、食育・口腔内ケア、その他の各事業が補完しあいながら「健康な生活の維持・増進」という政策へ寄与している。こころと体はつながっておりトータルで把えるべきで、現時点で行政としてバランスを考えた取り組みとなっている。
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	周産期から乳幼児期までの支援は人生のスタート時点での健康づくりとして必須であり、先述の「健康チャレンジ」は成人期以降の健康づくりの基幹である。また、「自殺うつ病予防」は若年層の死亡原因の第一として看過できない課題として重視した。「子ども事故予防センター」も重要だが、改修等を当面想定しておらず、比較的貢献度を小さくした。それ以外は15に記載のとおりトータルで貢献している。
17 来年度の方針(課題解決策や改善策、成果向上策について)	健康づくりは本人が主体性をもって地道に取り組む必要があり、行政はその継続がしやすいようサポートすることが求められる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模イベントや講演会の開催だけでなくインターネット等を活用したプログラム実施など事業の多角化を検討する。大枠としては見直しの必要性は低いが、タイミングよく情報提供し、モチベーションを維持されるよう工夫していく。
18 新規・拡充事業の効果や必要性	障害者の高齢化など、人口構造の変化に伴うきめ細かな対応など、より効果的なアプローチに向けた拡充や追加的新規事業は区民ニーズに応じて効果を上げるものとする。

19 施策を構成する計画事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0801-14	健康チャレンジ！事業	事業費合計(千円)	16,652	16,665	16,885	16,596	15,593
		うち一般財源分(千円)	15,060	14,663	15,256	14,967	14,350
		現状評価	A:良好	A:良好			
		事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2 国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0801-15	食育の推進	事業費合計(千円)	6,143	7,888	7,945	7,943	8,253
		うち一般財源分(千円)	5,634	7,365	7,401	7,462	7,768
		現状評価	B:普通	A:良好			
		事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★★	★
	事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持		B:改善・見直し	B:改善・見直し
0801-16	歯周病検診事業	事業費合計(千円)	19,882	24,366	23,526	23,219	21,924
		うち一般財源分(千円)	16,004	19,904	18,886	18,756	17,551
		現状評価	B:普通	B:普通			
		事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★
	事業特性2 国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	B:改善・見直し	B:改善・見直し		B:改善・見直し	B:改善・見直し
0801-17	障害者等歯科診療事業	事業費合計(千円)	41,491	42,889	42,508	42,587	42,439
		うち一般財源分(千円)	41,491	42,889	42,508	42,587	42,439
		現状評価	A:良好	A:良好			
		事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	A:改善・継続	A:現状維持		A:改善・継続	B:改善・見直し
0803-01	としま鬼子母神プロジェクト事業(健康相談、としま育児サポーター等)	事業費合計(千円)	22,459	19,484	17,473	17,170	13,143
		うち一般財源分(千円)	16,590	12,817	11,784	12,461	11,652
		現状評価	B:普通	B:普通			
		事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★★	★★	★★	★★
	事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	D:終了
0803-02	女性のしなやか健康づくり事業	事業費合計(千円)	11,005	11,277	11,307	11,722	12,349
		うち一般財源分(千円)	9,609	8,992	8,848	9,422	9,834
		現状評価	A:良好	B:普通			
		事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★	★
	事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:現状維持
0803-03	生活習慣病予防健診事業	事業費合計(千円)	7,835	8,763	9,020	8,792	9,191
		うち一般財源分(千円)	7,551	8,498	8,770	8,539	8,834
		現状評価	B:普通	B:普通			
		事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★	★	★
	事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:現状維持
0803-04	妊婦健康診査・妊産婦歯科健康診査事業	事業費合計(千円)	205,622	197,161	198,233	187,274	186,487
		うち一般財源分(千円)	205,622	197,161	198,233	187,274	186,487
		現状評価	B:普通	B:普通			
		事業特性1 任意的事業	施策貢献度	義務的事業	★★	★★	★★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

0803-05	母親学級		事業費合計(千円)	7,518	7,119	5,025	7,442	7,562
			うち一般財源分(千円)	7,518	7,119	5,025	7,442	7,562
			現状評価	A:良好	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	義務的事業	★★	★★	★★	★★
事業特性2		区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	A:現状維持
0803-06	乳幼児健康診査・相談・訪問事業		事業費合計(千円)	142,864	140,991	140,732	139,997	137,868
			うち一般財源分(千円)	139,321	137,584	137,235	134,173	129,879
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	義務的事業	★★	★★	★★	★★
事業特性2		国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:現状維持
0803-7	新生児聴覚検査		事業費合計(千円)			0	7,401	7,105
			うち一般財源分(千円)			0	7,401	7,105
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度				★★	★★
事業特性2		区単独	今後の事業の方向性				A:現状維持	A:現状維持
0803-08	産後ケア事業		事業費合計(千円)			16,455	11,377	15,023
			うち一般財源分(千円)			16,455	-273	-2,038
			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★★	★★	★★
事業特性2		国・都補助	今後の事業の方向性			A:現状維持	A:改善・継続	A:現状維持
0803-09	幼児歯科健康診査事業		事業費合計(千円)	18,946	14,289	15,218	16,378	15,228
			うち一般財源分(千円)	18,738	14,045	14,938	16,125	151,148
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
事業特性2		区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0803-11	栄養指導事業		事業費合計(千円)	6,736	4,454	4,593	4,798	5,343
			うち一般財源分(千円)	6,430	4,021	4,041	4,131	4,927
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★★	★★	★★	★★
事業特性2		国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0803-12	豊島区特定不妊治療費助成事業		事業費合計(千円)	0	7,001	13,883	14,420	20,091
			うち一般財源分(千円)	0	7,001	13,883	14,420	20,091
			現状評価		B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度		★	★	★	★
事業特性2		区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0803-17	こころの健康		事業費合計(千円)	36,272	41,162	40,446	43,551	42,278
			うち一般財源分(千円)	34,989	39,879	39,195	40,069	41,046
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★★★	★★★	★★★	★★★
事業特性2		国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	S:拡充	S:拡充	A:改善・継続	A:現状維持
0804-01	としま鬼子母神プロジェクト事業 (ライフプランセミナー)		事業費合計(千円)	1,257	1,283	2,125	1,759	1,700
			うち一般財源分(千円)	1,257	1,283	2,125	1,759	1,700
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
事業特性2		区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	D:終了
0804-02	女性のしなやか健康づくり事業		事業費合計(千円)	4,106	4,137	7,819	7,010	6,986
			うち一般財源分(千円)	3,388	3,778	7,275	6,399	6,434
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
事業特性2		国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:改善・継続
0804-03	母親学級開催事業		事業費合計(千円)	2,477	2,456	7,448	7,023	10,233
			うち一般財源分(千円)	2,477	2,456	7,448	7,023	10,233
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	義務的事業	★★	★★	★★	★★
事業特性2		区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:改善・継続
0804-04	乳幼児健康診査・相談・訪問 (こんにちは赤ちゃん事業・母子保健対策)事業		事業費合計(千円)	46,611	46,907	48,838	46,488	52,356
			うち一般財源分(千円)	45,235	45,459	47,387	43,898	49,744
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	義務的事業	★★	★★	★★★	★★★
事業特性2		国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0804-05	幼児歯科健康診査事業		事業費合計(千円)	1,757	1,802	1,919	1,921	3,657
			うち一般財源分(千円)	1,704	1,749	1,857	1,837	3,613
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
事業特性2		区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続
0804-06	栄養指導事業		事業費合計(千円)	2,544	2,598	4,156	3,407	3,352
			うち一般財源分(千円)	2,117	2,144	4,009	3,262	3,183
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★★	★★	★★	★★
事業特性2		国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

0804-07	精神保健事業		事業費合計(千円)	8,460	8,423	6,968	6,614	6,537
			うち一般財源分(千円)	8,460	8,423	6,968	6,614	6,537
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
20 施策を構成する一般事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0803-10	子ども事故予防センター運営経費		事業費合計(千円)	2,627	2,073	2,017	2,017	
			うち一般財源分(千円)	2,627	2,073	2,017	2,017	
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★	★	★	
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
0803-12	妊娠高血圧症候群等医療給付経費		事業費合計(千円)					
			うち一般財源分(千円)					
			現状評価					
	事業特性1	法定事業	施策貢献度					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					
0803-13	未熟児療育医療給付経費		事業費合計(千円)					
			うち一般財源分(千円)					
			現状評価					
	事業特性1	法定事業	施策貢献度					
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性					
0803-14	身体障害者育成医療給付経費		事業費合計(千円)					
			うち一般財源分(千円)					
			現状評価					
	事業特性1	法定事業	施策貢献度					
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性					
0803-15	妊産婦・乳幼児保健指導経費		事業費合計(千円)					
			うち一般財源分(千円)					
			現状評価					
	事業特性1	法定事業	施策貢献度					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					
0804-08	健康教育事業		事業費合計(千円)	5,127	5,133	6,422	6,010	6,010
			うち一般財源分(千円)	5,110	5,112	6,401	5,974	6,010
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	義務的事業	★	★	★	★
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	3-3-3		
2 地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		
3 政策	健康な生活の維持・増進		
4 施策	健康危機管理の強化		
5 評価担当部	池袋保健所		
6 施策関連課	地域保健課	生活衛生課	健康推進課
	長崎健康相談所		
7 評価者	池袋保健所長、健康担当部長		

8 施策の目標	新型インフルエンザ等の感染拡大防止や災害医療体制・保健衛生体制の構築など、健康危機への対応を強化します。 感染症予防の正しい知識の普及啓発と予防接種率の向上など、感染症対策を強化します。 食品衛生の向上による安全な生活環境を推進します。						
9 施策の現状と課題	●首都直下型地震では、豊島区内で約3,000名が負傷するとの被害想定が報告されている。災害医療体制の構築に向けて、関係機関と連携し、災害医療検討会議を設置しているところであるが、首都直下型地震等の発生に備え、発災を想定した負傷者対策をあらかじめ準備しておく必要がある。 ●豊島区では再興感染症である結核が依然として多く発生し、感染症対策を強化する必要がある。また、区民の感染症への理解を深めるため、普及啓発を強化することが重要である。新型インフルエンザ等対策については、初動対応に重点をおいた取組みを進める。 ●平成30年6月に食品衛生法が改正されたことに伴い、全ての食品事業者にHACCPに基づく自主管理を徹底させることが急務である。また、区民に対しては、様々な機会を通じて、食品衛生に関する意識の啓発を図っていくことが重要である。 ●危険ドラッグの販売は実店舗からインターネットに移行し、その監視は東京都が担当部署を設けて対応している。豊島区としては、情報収集に努め、動向を注視していく。						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	平成23年3月に発生した東日本大震災、また、平成28年度発生した熊本地震を教訓として、大規模災害の発生に備えて、関係団体との連携による医療救護体制の構築が急務である。 平成30年6月に食品衛生法が改正され、全ての食品事業者にHACCPに基づく自主管理が義務化された。区内の食品事業者がこのことを徹底させることが急務であり、また、今後の監視指導において、HACCPに基づく自主管理が実施されているかどうかを検証していくことが求められる。						
11 今年度の施策の取組方針	①大規模な地震等、新型インフルエンザ等の発生に備え、関係機関と連携して災害時の医療体制の構築を進めるとともに、対策訓練を実施する。 ②業界団体とも連携し、HACCPに基づく自主管理体制を徹底させるとともに、消費者に対し、正しい食品衛生の知識を普及啓発する。						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	852,242	867,575	941,446	945,398	1,054,742	
	うち一般財源分(千円)	703,780	708,589	766,341	765,049	762,409	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	感染症・食中毒予防講習会開催件数	目標値	90	100	100	100	100
		実績値	71	70	55	51	11
		達成率	78.9%	70.0%	55.0%	51.0%	11.0%
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	C:未達成	C:未達成	D:大きく未達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 講習会の開催件数が、感染症に対する認識を高め、健康危機管理の強化につながっていくと考えられるため				
	指標(2)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	災害発生時・新型インフルエンザ等感染症発生時に備えた対策訓練の実施	目標値	6	6	5	6	3
		実績値	5	5	4	6	3
		達成率	83.3%	83.3%	80.0%	100.0%	100.0%
達成状況		B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	A:達成	A:達成	
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 訓練を行うことで、災害時、インフルエンザ等強毒性感染症発生時における各機関の役割と課題が明確になるとともに、互いの連携強化と医療体制の構築の推進につながる。					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	55.5%	【達成状況分析】				
	C:未達成	感染症・食中毒予防講習会については、令和元年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の人を集めて行う講習会の開催が難しく、計画どおりにできない状況が続いている。しかしながら、感染症及び食品衛生に対する意識向上については、業者・消費者を問わず普及啓発を続けることが行政の責務であり、あらゆる機会を通じて、啓発の場を持ち続けていきたい。 【指標重要度の割合の設定理由】 先述のように、日常的な取り組みと、万が一に備えての取り組みは、どちらも欠くことのできない地道だが重要な取り組みと考えており、軽重をつけるべきではないと考える。					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	事業それぞれは、地道な取り組みであるが、繁華街池袋を含め、対象店舗数など作業量は膨大である。また、新型インフルエンザ対策や大震災への備えは、想定されるケースがあまりにも多様であり、協力を得るべき医療機関や空間的な拠点の確保などもさまざまである。店舗や医療機関も、改廃や新規も多く、その都度、理解と協力を得ていく必要がある。特別な判断指標によるのではなく、連携と熟練という部分を大切に構築していきたい。						
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	「保健所運営会議」は、現状では「保健衛生協議会」や「豊島区災害医療検討会議」など、より実態に即した協議体制を構築しており、貢献度は相対的に小さい、むしろ、義務的業務ではあるが、各々の取り組みを遺漏なく前進させることが施策の実現に寄与するものと考えている。						
17 来年度の方針(課題解決策や改善策、成果向上策について)	震災対策は経費を総務部の防災対策において計上しているが、医療分野個別の課題や医療機関等の改廃修繕などに伴う迅速な対応も求められており、必要な予算を衛生費において計上することが円滑な執行に寄与すると考える。						
18 新規・拡充事業の効果や必要性	発災直後の外傷等への最低限度の医療資器材等の配置が完了しつつある(できれば、拠点を増やしたいと思う)。一方で、周産期対応や人工透析患者への対応、救済センターにおける感染症対策の強化など、全人口に占める比率は少ないものの、災害時に命に直結する対応の部分で未着手な面も少なくないため、新規・拡充事業としての必要性ともたらず潜在的効果の大きい取り組みは残っている。						

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

19 施策を構成する計画事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0801-19 0803-18	健康危機管理事業 (一部健康推進課事業経費)	事業費合計(千円)	10,922	10,880	11,763	11,412	13,782
		うち一般財源分(千円)	10,654	10,486	11,485	11,105	13,111
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★
事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0802-01	食品衛生関係事業	事業費合計(千円)	25,106	19,632	22,569	22,197	23,952
		うち一般財源分(千円)	0	0	0	0	0
		現状評価	A:良好	B:普通			
	事業特性1	法定事業	施策貢献度	義務的事業	★	義務的事業	義務的事業
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:現状維持	
0802-02	医務・薬事関係事業	事業費合計(千円)	5,164	3,962	4,071	3,701	2,764
		うち一般財源分(千円)	1,483	0	0	0	
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	法定事業	施策貢献度	義務的事業	義務的事業	義務的事業	義務的事業
事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		
0802-03	環境衛生関係事業	事業費合計(千円)	4,982	4,807	4,772	4,220	3,179
		うち一般財源分(千円)	2,032	333	0	0	
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	法定事業	施策貢献度	義務的事業	義務的事業	義務的事業	義務的事業
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	
0803-19	災害時における在宅人工呼吸器使用者に対する支援事業	事業費合計(千円)	0	2,130	3,616	3,521	2,795
		うち一般財源分(千円)	0	1,895	3,381	3,360	2,633
		現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度		★★	★★	★★
事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性		A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0803-20	予防接種事業	事業費合計(千円)	745,029	759,060	816,371	822,910	967,858
		うち一般財源分(千円)	634,270	635,650	679,531	683,472	711,909
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	義務的事業	★★	★★	★★
事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持
0803-21	感染症対策事業	事業費合計(千円)	59,316	59,039	67,494	68,174	29,783
		うち一般財源分(千円)	53,899	52,570	61,565	58,366	24,505
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	義務的事業	★★	★★	★★
事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
0802-04	住宅宿泊事業適正運用事業	事業費合計(千円)			1,003	259	455
		うち一般財源分(千円)			1,003	259	455
		現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★★	★★
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続
20 施策を構成する一般事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0801-18	薬物乱用防止推進事業等助成経費	事業費合計(千円)	1,357	7,665	9,385	8,600	10,047
		うち一般財源分(千円)	1,207	7,455	9,175	8,285	9,732
		現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	★	★
事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	一般事業(評価対象外)
0802-05	食の安全推進事業	事業費合計(千円)	366	400	402	404	127
		うち一般財源分(千円)	235	200	201	202	64
		現状評価	A:良好	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	
事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)
0803-20	災害時生活必需品(口腔衛生)備蓄事業	事業費合計(千円)					
		うち一般財源分(千円)					
		現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度				
事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					一般事業(評価対象外)
0803-23	新型コロナウイルス感染症対策事業	事業費合計(千円)					
		うち一般財源分(千円)					
		現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度				
事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性					一般事業(評価対象外)
0803-24	新型コロナウイルスワクチン接種事業	事業費合計(千円)					
		うち一般財源分(千円)					
		現状評価					
	事業特性1	法定事業	施策貢献度				
事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性					

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	3-3-4		
2 地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち		
3 政策	健康な生活の維持・増進		
4 施策	地域医療体制の充実		
5 評価担当部	池袋保健所		
6 施策関連課	地域保健課		
7 評価者	池袋保健所長、健康担当部長		

8 施策の目標	区民の誰もが安心して在宅で医療を受けることができる仕組みづくりを推進します。						
	適切な医療情報を区民に提供するとともに、休日や夜間を含め、誰もが安心して身近な医療機関で治療が受けられる環境・体制を整備します。						
9 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●区民意識調査では、かかりつけ医を持つ区民の割合は6割以上であり、3割以上の人が、最期を迎える場所として自宅を希望している。こうした現状を踏まえ、安心して在宅医療を受けられる環境を整備するとともに、かかりつけ医を持つことを推進する必要がある。 ●在宅医療の充実に向けて、医療と介護の連携を強化する。 ●在宅医療情報の提供と相談機能充実のため、在宅医療相談窓口や歯科相談窓口の普及啓発を図る。 ●高齢化、核家族化の進展や疾病構造の変化により、救急医療の需要は増加傾向にあり、小児救急をはじめ救急医療体制の充実が課題となっている。 						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	高齢化の進展に伴い、国は2025年を目途に、全国の自治体に医療・介護・住まい・予防・生活支援を一体的に提供するサービスである「地域包括ケアシステム」の構築を求めている。医療や介護が必要な人が身近な場所で適切なサービスが受けられる仕組みづくりと、在宅医療と介護の切れ目のない提供体制の構築、在宅医療を支える多職種連携の取組みは、今後更に必要性が高まる。						
11 今年度の施策の取組方針	①「在宅医療連携推進会議」を開催して、ICTを活用した在宅医療スタッフ相互の連携強化を進めるとともに、在宅医療コーディネーター研修の充実でスキルアップを図る。 ②在宅医療相談窓口及び在宅歯科相談窓口を広く区民に周知する。 ③三師会及び看護師会との連携のもと、休日診療、休日調剤、初期救急診療事業の充実を図り、安定した医療サービスを提供する。						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	101,173	112,408	122,070	131,837	124,104	
	うち一般財源分(千円)	87,880	83,913	92,902	94,269	90,946	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	在宅医療相談窓口コーディネーター数【件】	目標値	1,500	1,850	1,500	1,950	1,950
		実績値	1,814	1,424	1,908	1,772	1,918
		達成率	120.9%	77.0%	127.2%	90.9%	98.4%
		達成状況	A: 達成	B: 相当程度達成	A: 達成	B: 相当程度達成	B: 相当程度達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 在宅医療連携の観点から、相談を受けた件数にとどまらずコーディネーター機能が発揮できた件数を成果とするのが適当と判断したため				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	歯科相談窓口コーディネーター数【件】	目標値	70	90	120	200	200
		実績値	90	114	191	158	182
		達成率	128.6%	126.7%	159.2%	79.0%	91.0%
達成状況		A: 達成	A: 達成	S: 目標超過達成	B: 相当程度達成	B: 相当程度達成	
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 在宅医療連携の観点から、相談を受けた件数にとどまらずコーディネーター機能が発揮できた件数を成果とするのが適当と判断したため					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	94.7%	【達成状況分析】				
	B: 相当程度達成	「地域医療体制の充実」の中でも、急性期医療などは広域自治体である東京都が二次医療圏域ごとに調整し、相互の連携を図ることとなる。一方、介護分野との連携など「在宅医療」については、区が調整主体として平成30年度以降に主導的な役割を果たすこととされている。「在宅医療相談窓口」「歯科相談窓口」はいずれも、その調整拠点として大きな意義を有するものであり、目標値を相当程度達成したことは、今後に向けての区の方向性が区民需要に対応したものとなっているものと認識している。					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
		先述のように「在宅医療相談窓口」「歯科相談窓口」はいずれも、その調整拠点として大きな意義を有するものであり、意義に於いて序列はつけがたい。					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	行政として拠点整備を進めることができるのは、コーディネーター機能などに限られるが、今後は、在宅診療を中心として担う診療所が増えるとともに、区内病院における在宅医療支援拠点としての機能、看護師会(訪問看護ステーション)との連携、さらにはリハビリテーション職との連携など医療スタッフの在宅医療を囲むネットワークの一層の充実が求められる。これまでの取り組みは方向として妥当と判断するが、側面支援としての行政は、医療主体である診療所・病院・訪問看護ステーション・リハ職などの主体性を尊重しつつ、果たすべき役割を適切に見出す必要がある。						

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	先述のように、コーディネーターに期待される役割は大きく、相互に序列をつけるのは相応しくない。休日医療の確保も重要であるが、今後の区の果たすべき役割の中で、在宅医療をより大きくとらえたものである。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	かかりつけ医制度を普及啓発し、在宅療養に理解ある区民を増やすために、在宅療養に関する区民公開講座を実施しているが、来年度は発足三年目の豊島区看護師会による講座を追加して実施する予定である。区民に身近な看護師会が実施することで新たな層の参加が見込まれる。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	平成30年度から歯科相談窓口の受付日数が増加したため(平成29年度まで 火～土、平成30年度以降 月～土)業務委託料を増額した。 令和元年度の新規・拡充事業で豊島区看護師会と豊島区リハビリテーション協議会が設置され、在宅療養環境が充実してきている。 今後も、豊島区医師会と協議しながら、ICTを活用した在宅医療・介護連携を推進するために必要な事業を実施する。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0801-20	在宅医療連携推進会議・ 在宅医療相談窓口事業		事業費合計(千円)	19,094	30,613	39,802	43,740	35,759
			うち一般財源分(千円)	14,955	11,198	19,715	15,390	11,120
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	S:拡充	A:改善・継続	A:現状維持
0801-21	休日診療・夜間小児初期救急診療事業		事業費合計(千円)	75,829	75,524	75,997	79,935	80,978
			うち一般財源分(千円)	72,075	71,865	72,338	77,179	78,976
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★	★	★	★	★
	事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	A:現状維持
0801-22	在宅歯科医療相談窓口事業		事業費合計(千円)	6,250	6,271	6,271	8,162	7,367
			うち一般財源分(千円)	850	850	849	1,700	850
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続